

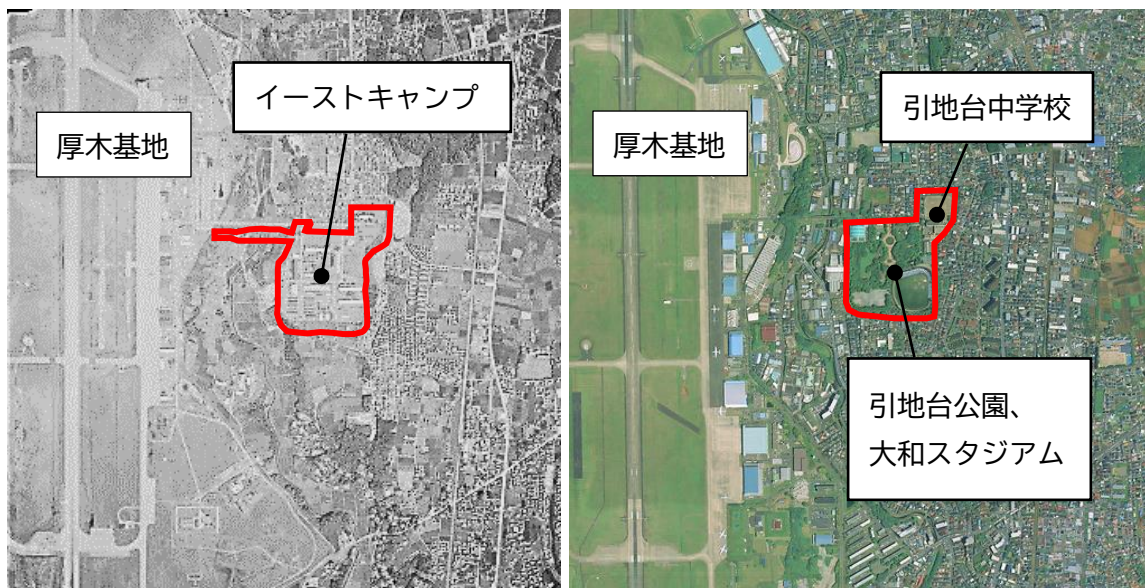
『大和市と厚木基地』

6 厚木基地の一部返還と基地周辺国有地の使用

(1) イースト・キャンプの返還

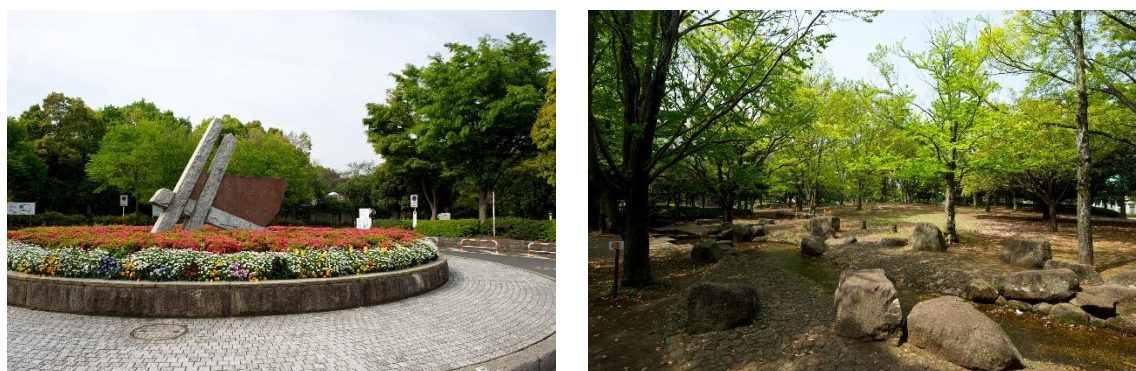
厚木基地のイースト・キャンプ（約 139,000 m²）は、昭和 40 年代初期には遊休化が目立ち始めていました。そのため、市や市議会等が中心となり地元で有効に利用できるよう返還運動を進めた結果、昭和 46 年（1971 年）12 月、イースト・キャンプの一部が返還され、更に昭和 48 年（1973 年）5 月にはその残余部分が返還されました。現在、引地台中学校および引地台公園として利用されています。

【位置概略図】



出典：国土地理院の空中写真（左 昭和 42（1967）年撮影、右 令和元（2019）年撮影）

【引地台公園の様子】



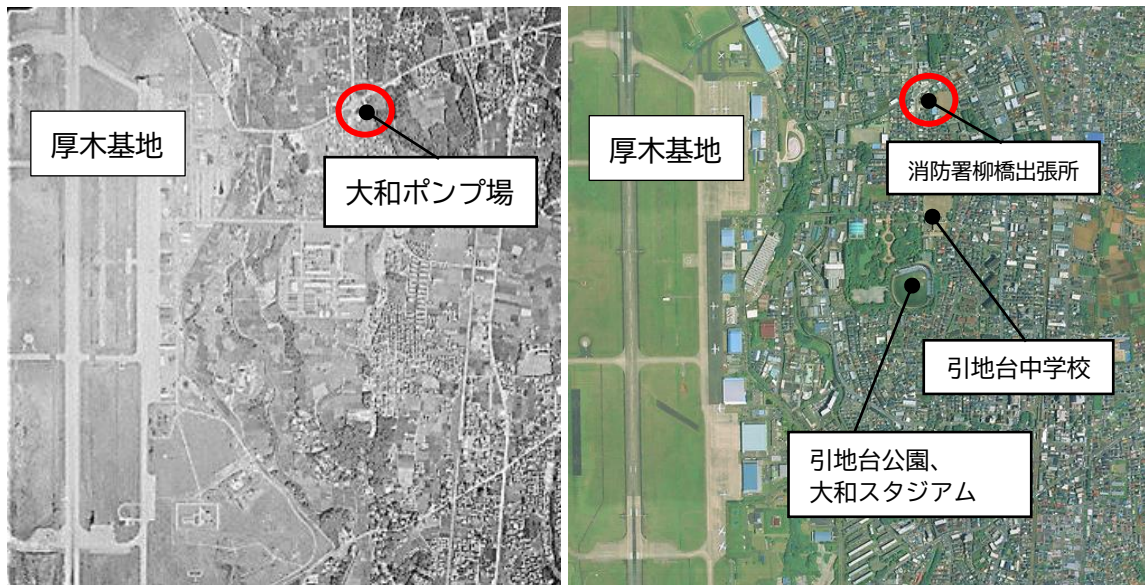
『大和市と厚木基地』

6 厚木基地の一部返還と基地周辺国有地の使用

(2)大和ポンプ場の返還

厚木基地の大和ポンプ場（約1,134㎡）は、イースト・キャンプなど厚木基地内の消火活動等のための給水機能を果たしていましたが、イースト・キャンプの返還に伴い、昭和52年（1977年）1月に返還されました。現在、大和市消防署柳橋出張所として利用されています。

【位置概略図】



出典：国土地理院の空中写真（左 昭和42（1967）年撮影、右 令和元（2019）年撮影）

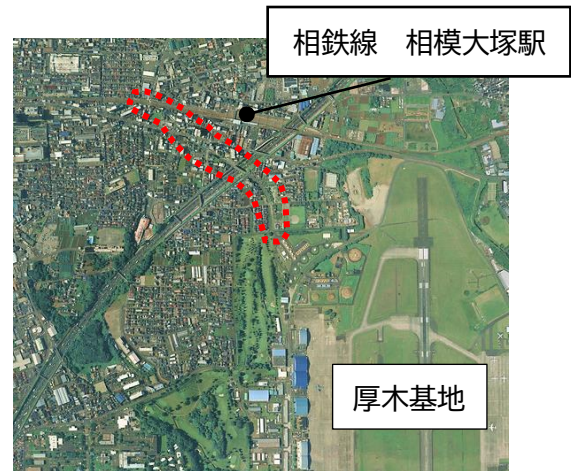
【大和市消防署柳橋出張所】



(3)引込線とその側道部分の返還

厚木基地への燃料輸送のため、相模鉄道の路線から厚木基地へ延びていた引込線（大和市、綾瀬市、海老名市に所在、約 13,000 m²、うち大和市域約 9,100 m²）については、平成 11 年（1999 年）頃から使用されていない状態が続いていました。また、引込線の側道部分の一部については、児童遊園などとして地元利用の要望が長年続き、平成 10 年（1998 年）には大和市が国に対し道路として共同使用を申請しました。当該地で問題となっていた放置車両の撤去を米軍などと協力して実施した結果、平成 11 年（1999 年）10 月の日米合同委員会で共同使用が承認され、その後、共同使用の条件として米側から提示された米軍専用の駐車場の整備と合わせ、道路と歩道（桜森いこなード）が整備されました。平成 29 年（2017 年）6 月 30 日の日米合同委員会で、引込線とその側道部分の返還及び米軍専用駐車場部分の使用条件変更が合意され、同年 9 月 30 日、引込線とその側道部分が返還されました。返還地の約 7 割は国有地であり、その大半は道路として使用され、残り約 3 割は民有地であり、国が鉄軌道等の工作物を撤去した後、地権者へ引き渡されました。

【位置概略図（赤の囲み部分が引込線）】



出典：国土地理院の空中写真（左 昭和 22（1947）年撮影、右 令和元（2019）年撮影）

【引込線の様子】（令和元（2019）年 6 月撮影）



(4)基地周辺の国有地の使用

国（防衛省）は「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき、基地周辺の特定区域で土地の買入れや緑地帯の整備等を行っていることから、厚木基地周辺にも防衛省所管の国有地があります。こうした国有地について、国の使用許可を受け、大和市では大規模公園やごみ焼却施設の整備等のために活用しており、また、自治会など地域では防災備蓄倉庫置場等に活用しています。

【ふれあいの森 スカイ広場】



【大和ゆとりの森 わんぱく広場】



【自治会の防災備蓄倉庫置場】

